

【文化都市】

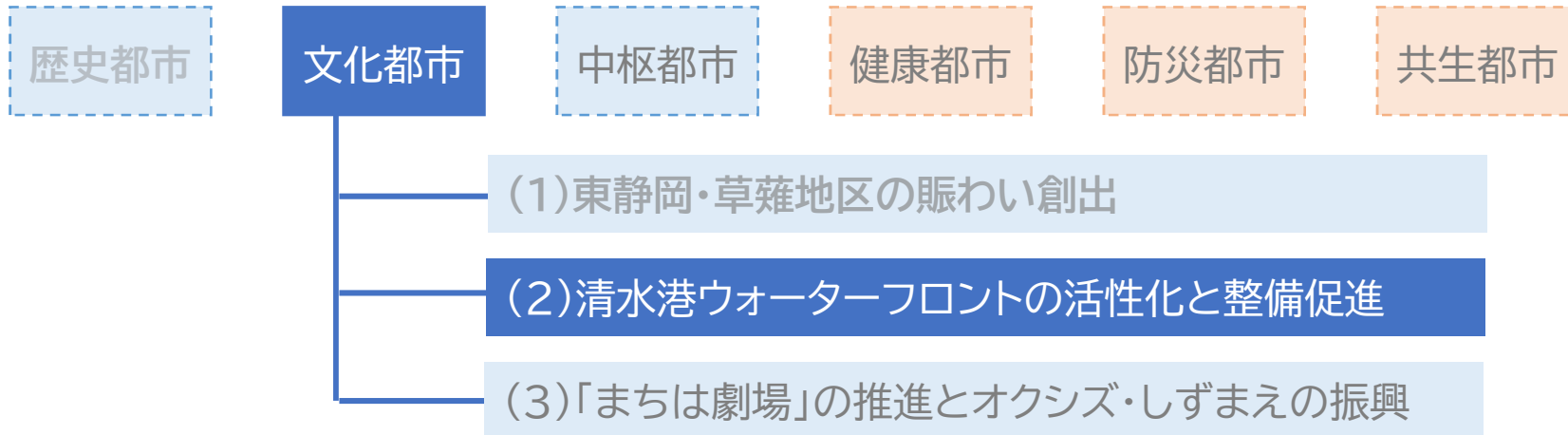
清水港ウォーターフロントの 活性化と整備促進

(海洋文化の拠点づくり)

令和4年1月

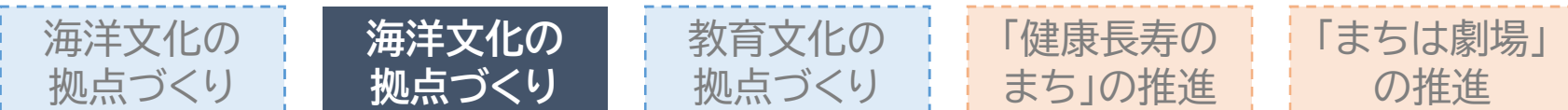
1 当該政策の位置付け

【3次総】重点プロジェクト



世界水準の都市「静岡市」を目指して強化

【3次総】5大構想



【4次総】 (仮)7つの柱 (仮)海洋文化の地域づくり

5大構想（2）海洋文化の拠点づくり

主要関連局【企画局・観光交流文化局・環境局・経済局・都市局】

(1) 目標

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

(2) 方針

① 産学民官の連携による「海洋文化拠点」の形成

大学等の研究機関や周辺企業等との連携を深め、新たな海洋産業の振興や海洋人材の育成を図るとともに、海洋・地球に関する総合的な展示施設である「海洋文化施設」を整備し、この施設が国際海洋文化都市のシンボル施設となることを目指す。

② 「働みなと」に「楽しむみなと」を加えた求心力の強い港町の創生

清水都心ウォーターフロント地区において、民間活力を引き出すような観光の基盤整備や、わくわくドキドキを肌で感じるような多彩な賑わいづくりの施策を進めるとともに、地震や津波に備えた災害対策を推進する。



【ロードマップ】

	3次総							
	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022
公民連携協議会			協議会設立・ランドデザイン策定		法人化検討・一般社団法人化			
海洋文化施設整備事業等		基本構想		基本計画	土地取得			
清水庁舎整備等事業				構想・計画		一時停止	構想見直し	
清水港海釣り公園整備事業					杭工事		上部工整備	
清水港の整備		河岸の市方面 ペデック半延伸	456号上屋 機能移転完了	ふ頭緑地等整備 《日の出》客船岸壁拡大				
イベント事業等 (マグロのまち、開港120周年、みなとオアシス、観光客対応促進)			みなとオアシス登録		「開港120周年」と連携した普及啓発等			
清水港客船誘致の推進				客船誘致・歓迎活動(負担金)				
清水港ウォーターフロント活性化推進事業		ポケットパーク完成		清水港線跡自歩道整備		水と光のプロムナード		自歩道イベント等実施
駿河湾フェリー運航支援事業				運航支援				
海洋産業クラスターの創造事業		協議会立上げ ビジョン作成	①シーズ発掘～事業化研究			～①②③のバイラル継続～		③国内外クラスタとの連携

2 各事業の実施状況

(1)各事業の執行状況

分野別 計画	主要事業名	年度	主な活動内容	年度	現計予算額	前年度からの繰 越額	決算額	人工			所管課
								正規	非常勤	臨時	
分野1 観光 交流 分野	海洋文化施設整備事業	H27 ～ H30	海洋文化拠点施設整備に向け下記のとおり実施	27	—	—	—	1.0	0.0	0.0	海洋都 市政策 課
			H28年度 海洋文化拠点施設基本構想を策定	28	18,684	—	18,500	1.0	0.0	0.0	
			H30年度 海洋文化拠点施設基本計画策定を策定(H29年度繰越)	29	15,987	—	14,672	1.0	0.0	0.0	
			PPP導入可能性調査により事業手法の絞り込み	30	43,150	(繰越) 11,984	47,131	1.0	0.0	0.0	
		展示内容(コンテンツ)の検討									
		施設展示コンテンツの検討業務									
		海外先進事例調査(アメリカ モントレー等)									
		R1 ～ R4	PF1事業者選定の準備を整えR2. 2に事業者公募を開始したが、コロナの影響を受けてR2. 5に公募を取り下げ、事業を一旦停止し、現在、事業再開に向けて事業条件等の見直しを実施中。	1	1,413,930	—	1,007,053	3.0	0.0	0.0	
2	883	304,751	304,876	3.0	—	0.0	—				
3	3,449	0	3,191	3.0	—	0.0	—				
4	—	—	—	—	—	—	—				
分野1 観光 交流 分野	清水港海づり公園整備事業 ※平成29年度までは、「清水港海づり公園代替施設再整備事業」	H27 ～ H30	清水港海づり公園の整備	27	2,600	—	2,275	0.5	0.0	0.0	海洋都 市政策 課
			H27年度 整備候補地の調査	28	5,873	—	5,831	1.2	0.0	0.0	
			H28年度 基本計画策定、整備候補地の決定	29	16,784	—	668	1.2	0.0	0.0	
			H29年度 基本設計(着手したがH30年度に繰越)	30	322,000	(繰越) 13,367	299,620	1.2	0.0	0.0	
		H30年度 基本設計、棧橋部分基礎工事準備(R1年度着工)									
		R1 ～ R4	清水港海づり公園の整備	1	402,000	0	160,200	1.2	0.0	0.0	
		R1年度 棧橋基礎工(鋼管杭打設)	2	94,000	241,800	241,800	1.2	—	0.0		
		R2年度 棧橋基礎工(杭切断等)	3	153,442	94,000	96,420	1.2	—	0.0		
R3年度 棧橋上部工修正設計	4	—	—	—	—	—	—				
R4年度 棧橋上部工											
分野3 商工 物流 分野	清水港の整備	H27 ～ H30	清水港港湾計画に基づき、清水港港湾整備に係る港湾所在市負担金を支出する。	27	281,086	—	276,086	0.3	0.0	0.0	海洋都 市政策 課
			28	367,736	—	357,236	0.6	0.0	0.0		
			29	430,755	—	417,465	0.3	0.0	0.0		
			30	502,038	—	502,038	0.3	0.0	0.0		
		R1 ～ R4	清水港港湾整備に係る県への負担金 【県条例による負担金割合】 ①国直轄事業 5% ②県交付金事業 15%～1/3 ※一部起債対象外 ③県単独事業 30%～50% ※一部起債対象外	1	620,468	—	620,468	0.8	0.0	0.0	
		2	744,374	—	743,241	0.8	—	0.0			
		3	584,500	—	884,755	0.8	—	0.0			
		4	—	—	—	—	—	—			
分野1 観光 交流 分野	「まぐろのまち静岡」の推進	H27 ～ H30	①清水港マグロまつり実行委員会への補助金の交付	27	6,500	—	6,500	0.5	0.0	0.0	海洋都 市政策 課
			②清水港マグロまつり実行委員会への支援	28	6,500	—	6,500	0.8	0.0	0.0	
			③首都圏PRの実施	29	6,500	—	6,500	0.4	0.0	0.0	
			30	6,500	—	6,500	0.4	0.0	0.0		
		R1 ～ R4	①清水港マグロまつり実行委員会への補助金の交付	1	6,500	—	4,455	0.8	0.0	0.0	
		②清水港マグロまつり実行委員会への支援	2	6,500	—	6,500	0.8	—	0.0		
		③清水港マグロPRの実施	3	6,500	—	6,500	0.8	—	0.0		
		※R1の台風による中止を受け、R2ではwebを活用したのも同時に開催。リアルイベントは台風により規模縮小したが、リアルでの来場者3,515人、web閲覧者36,569人により有効なイベント開催となった。	4	—	—	—	—	—	—		
分野1 観光 交流 分野	清水港客船誘致の推進	H27 ～ H30	①清水港客船誘致委員会(事務局は海洋文化都市推進本部)への負担金の交付	27	27,800	—	27,800	1.0	0.5	0.0	海洋都 市政策 課
			②清水港客船誘致委員会による誘致活動、客船寄港時の歓迎事業の実施	28	33,624	—	32,965	1.5	0.5	0.0	
			③客船寄港時のシャトルバスの運行(H28年度より)	29	48,028	—	45,938	1.5	0.5	0.8	
			30	64,201	—	55,713	1.5	0.5	0.8		
		R1 ～ R4	客船・帆船の誘致活動、寄港時における歓迎イベントの開催	1	56,385	—	56,385	1.5	0.5	0.5	
		2	45,340	—	15,871	1.0	—	1.0			
		3	24,000	—	24,000	1.0	—	1.0			
		4	—	—	—	—	—	—			

分野別 計画	主要事業名	年度	主な活動内容	年度	現計予算額	前年度からの繰 越額	決算額	人工			所管課
								正規	非常勤	臨時	
分野1 観光 ・ 交流 分野 分野6 都市 ・ 交通 分野	清水都心ウォーターフロント活性化推進事業	H27 ～ H30	(海洋文化都市推進本部) 清水都心ウォーターフロント地区の回遊性を向上させるためのソフト事業の実施 ・ 清水フリトラ市 ・ オープンカフェ (H29年度まで) ・ 灯り道 (H28年度から)	27	4,400	—	4,319	0.2	0.0	0.0	海洋 都市 政策 課
				28	11,181	—	8,343	0.4	0.0	0.0	
				29	11,000	—	10,838	0.4	0.0	0.0	
				30	9,400	—	13,176	0.4	0.0	0.0	
		H27 ～ H30	(清水駅周辺整備課) JR清水駅の東口歩行者デッキの整備 H26年度 歩行者デッキ詳細設計業務委託 H27年度 工事着手 H29年2月4日 歩行者デッキ供用開始 (整備完了)	27	500,000	—	238,619	1.2	0.0	0.0	清水 駅周 辺整 備課
				28	0	(繰越)244,179	(繰越)244,163	1.2	0.0	0.0	
				29	—	—	—	—	—	—	
				30	—	—	—	—	—	—	
		H27 ～ H30	(都市計画課・※H30年度より海洋文化都市推進本部へ移管) ①清水港線跡遊歩道沿道スポット設計、整備 ②遊歩道江尻側交差点改良 ③開発推進会議の運営支援及び都市デザイン検討	27	16,000	—	12,690	1.0	0.0	0.0	海洋 都市 政策 課
				28	36,437	(繰越)4,500	18,282 (繰越)3,868	1.1	0.0	0.0	
				29	16,000	(繰越)18,713	12,922 (繰越)18,713	1.2	0.0	0.0	
				30	66,000	—	17,946	2.0	0.0	0.0	
	H27 ～ H30	(交通政策課) ①集客イベントに合わせた新交通に関するアンケート、PR活動の実施 (H27～30年度) ②清水都心地区における、各視点を結ぶ回遊性向上の検討(令和元年度完了予定)	27	3,000	—	2,916	2.0	0.0	0.0	交通 政策 課	
			28	1,000	—	100	0.2	0.0	0.0		
			29	100	—	22	0.2	0.0	0.0		
			30	100	—	30	0.2	0.0	0.0		
	R1 ～ R4	清水都心ウォーターフロント活性化推進事業(フリトラ市の開催)	1	2,200	—	2,200	0.3	0.0	0.0	海洋 都市 政策 課	
			2	2,090	—	1,742	0.3	—	0.0		
			3	—	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—	—		
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業(清水港線跡遊歩道整備)		1	0	—	0	2.0	0.0	0.0			
		2	105,350	—	44	2.0	—	0.0			
		3	0	105,306	56,965	2.0	—	0.0			
		4	—	—	—	—	—	—			
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業(WF地区デザイン提案検討)		1	5,000	—	4,829	0.6	0.0	0.0			
		2	5,000	—	4,829	0.6	—	0.0			
		3	5,000	—	4,829	0.6	—	0.0			
		4	—	—	—	—	—	—			
清水都心ウォーターフロント活性化推進事業(光の景観まちづくり)		1	25,222	—	21,283	1.5	0.0	0.0			
		2	9,100	—	7,480	1.5	—	0.0			
		3	—	—	—	—	—	—			
		4	—	—	—	—	—	—			
分野1 観光 ・ 交流 分野	清水港開港120周年記念事業(プレ事業)	H27 ～ H30	①清水港開港120周年記念事業実行委員会(事務局は海洋文化都市推進本部)への負担金の交付 ②清水港開港120周年記念事業開催に向けた準備等	27	—	—	—	—	—	—	海洋 都市 政策 課
				28	—	—	—	—	—	—	
				29	—	—	—	—	—	—	
				30	5,000	—	5,000	5.0	0.2	0.0	
	清水港開港120周年記念事業	R1 ～ R4	1	45,000	—	45,000	2.0	0.0	0.5		
			2	—	—	—	—	—	—		
			3	—	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—	—		

分野別 計画	主要事業名	年度	主な活動内容	年度	現計予算額	前年度からの繰 越額	決算額	人工			所管課
								正規	非常勤	臨時	
分野1 観光 ・ 交流 分野	みなとオアシス運営事業	H27 ～ H30	①みなとオアシスの設置 ②みなとオアシスの運営	27	—	—	—	—	—	—	海 洋 都 市 政 策 課
				28	—	—	—	—	—	—	
				29	—	—	—	—	—	—	
				30	4,865	—	4,865	0.2	0.0	0.0	
		R1 ～ R4	情報発信拠点の管理、オアシスイベント等の実施	1	5,593	—	5,369	0.3	0.0	0.0	
				2	4,177	—	4,038	0.3		0.0	
		3	2,439	—	2,439	0.3		0.0			
		4	—	—	—	—	—	—			
分野1 観光 ・ 交流 分野	駿河湾フェリー運航支援事業	R1 ～ R4	駿河湾フェリーの運航及び環駿河湾観光交流活性化協議会に係る経費の負担並びに利用促進事業	1	25,800	—	21,978	1.4	0.0	0.0	M 観 光 ・ 推 進 課
				2	28,800	—	26,874	1.4		0.0	
				3	42,600	—	25,300	1.5		0.0	
				4	—	—	—	—	—	—	
分野3 商工 ・ 物流 分野	商店街の外国人観光客対応促進事業	H27 ～ H30	①新商品・サービス、メニューの多言語表示等、商店街における外国人観光客の受け入れ態勢の強化を支援	27	—	—	—	—	—	—	商 業 労 政 課
				28	—	—	—	—	—	—	
				29	—	—	—	—	—	—	
				30	3,600	—	1,474	0.3	0.0	0.0	
分野3 商工 ・ 物流 分野	海洋産業クラスターの創造事業	H27 ～ H30	平成28年5月に設立した「静岡市海洋産業クラスター協議会」を実施主体とし、海洋・水産関連産業分野における新事業創出及び既存事業の高度化を目指した活動を実施する。 ①情報発信事業（シンポジウム開催、ウェブサイト開設） ②産学マッチング支援事業（アドバイザー設置など） ③人材育成事業（セミナー開催） ④事業化研究事業（事業化研究プロジェクト実施など）	27	3,103	—	2,444	1.0	0.0	0.0	産 業 政 策 課
				28	70,568	—	62,261	1.0	1.0	0.0	
				29	77,904	—	77,904	1.0	1.0	0.0	
				30	61,500	—	54,876	1.0	1.0	0.0	
		R1 ～ R4	地元産業技術と大学等とのマッチングによる海洋資源を活かした技術開発や産業創出の支援	1	22,502	—	15,730	3.0	1.0	0.0	
				2	17,200	—	10,340	3.0		1.0	
				3	11,900	—	11,357	3.0		1.0	
				4	—	—	—	—	—	—	

2 各事業の実施状況

(2)政策全体の振り返り(実施できたこと)

①公民連携協議会の発足、グランドデザインの策定

「みなと」と「まち」一体の「みなとまちづくり」を公共と民間が協力して進めています。
清水港及び周辺の将来像を検討し、これから概ね20年でめざす姿として「清水みなとまちづくりグランドデザイン」を策定しました。

6 「ひらく・みなとまち ～みんなでひらく・みんなにひらく みなとまちしみず～」 10の視点

産業と市民が共存し、活力と美しさが両立する「ひらく・みなとまち」の実現に向けて、10の視点を提案します。立地と自然に恵まれ、産業に重きを置いてきた清水伝統の海洋文化の上に、これら10の視点を重ねることで、次世代の新しい清水の海洋文化のあり方を描きます。

清水の海洋文化を牽引するのは、海洋と深く関わる産業で（産業の視点）、①海洋経済、②海洋交流、③海洋研究、④海洋生活の4つに整理できます。海洋に係る産業を広く捉えることによって、市民、企業、行政がともに協力がすることが、「みなとまちしみず」の未来を開きます（みんなでひらく）。

海洋経済の例：港湾物流、製造業、エネルギー、工業、水産業など
 海洋交流の例：クルーズ、マリーナ、観光、国際交流など
 海洋研究の例：深海研究、マリンバイオ、防災、国際会議など
 海洋生活の例：マリンスポーツ、海洋レジャー、食など

清水の海洋文化の基礎は、海洋と市民（住民、就労・就学者、来訪者、観光客）の日常的な関わりであり（市民の視点）、⑤自然・歴史・文化、⑥回遊動線と心地よい場所、⑦先端技術の実装・活用、⑧防災・減災と環境、⑨多様性と循環、⑩協働・連携・共創の6つに整理できます。市民、企業、行政が清水の類稀な特徴を再評価し、ともに磨いていくことが、「みなとまちしみず」の魅力を外に発信し、活かすこととなります（みんなにひらく）。

【将来像と視点の関係】

これまで
清水伝統の海洋文化
立地と自然に恵まれた産業の港

みんなでひらく（産業の視点）
①海洋経済
②海洋交流
③海洋研究
④海洋生活

みんなにひらく（市民の視点）
⑤自然・歴史・文化
⑥回遊動線と心地よい場所
⑦先端技術の実装・活用
⑧防災・減災と環境
⑨多様性と循環
⑩協働・連携・共創

将来像
清水次世代海洋文化
産業と市民が共存し
活力と美しさが両立する
「ひらく・みなとまち」



10の視点

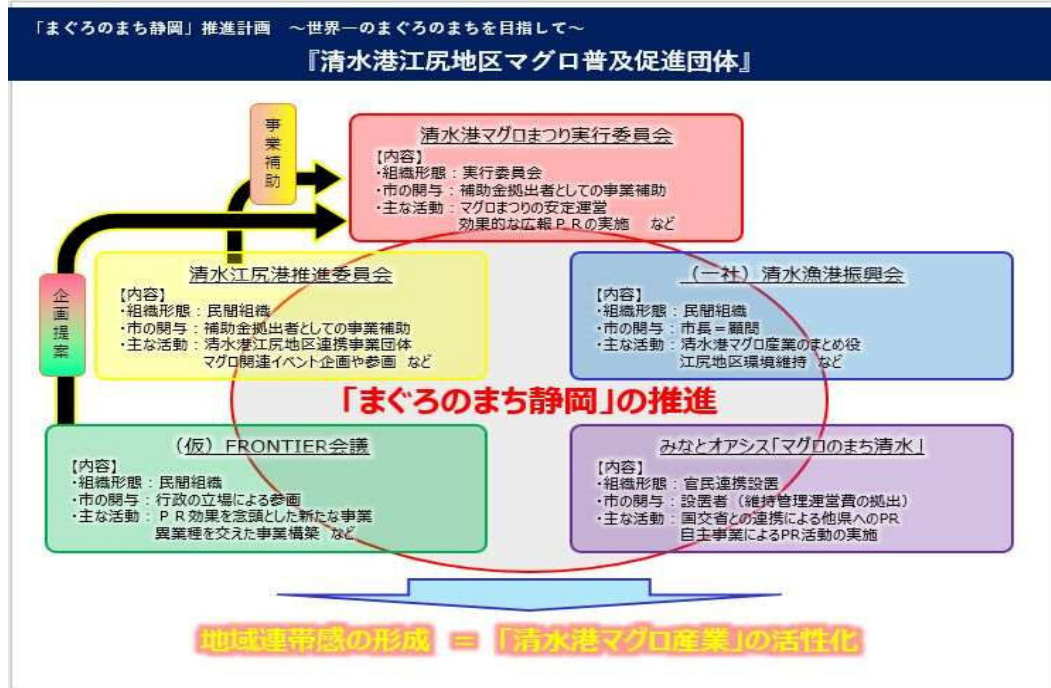
1	海洋経済	清水が培い、清水を育ててきた、海洋と関わる経済活動を発展的に継続する
2	海洋交流	全国から海外まで陸海空の立地アクセスを生かし、国内外の観光・交流を増進する
3	海洋研究	駿河湾の環境と災害の経験を活かし、世界的な海洋研究・イノベーション拠点を形成する
4	海洋生活	静謐な水面、陸海豊富な食材、温暖な気候を利用して健康・娯楽の可能性を広げる
清水ならではの海洋文化		
5	自然・歴史・文化	自然環境に恵まれて育まれた歴史文化を再評価し発信する
6	回遊動線と心地よい場所	風順を要て、安全安心快適に巡る動線と空間のネットワークをつくる
7	先端技術の実装・活用	最先端の科学技術を取り入れ、積極的な活用により明るい未来を実現する
8	防災・減災と環境	災害対策と環境改善に粘り強く取り組み、安全安心と最先端研究をともに進める
9	多様性と循環	いろんな価値観と生き方を受け入れ、風通しのよい地域社会をつくる
10	協働・連携・共創	市民と企業と行政が自発的かつ運動して「みなとまちづくり」を進める

②港のブランディング(まぐろのまち静岡の推進、みなとオアシスマぐろのまち清水)

「マグロのまち静岡」の推進、みなとオアシスマぐろのまち清水の運営を通して、港のブランディングを促進



令和3年12月4、5日開催 清水港マグロまつり「清水マグロ博」の様子



③海釣り公園工事着手



令和3年12月現在の海づり公園航空写真

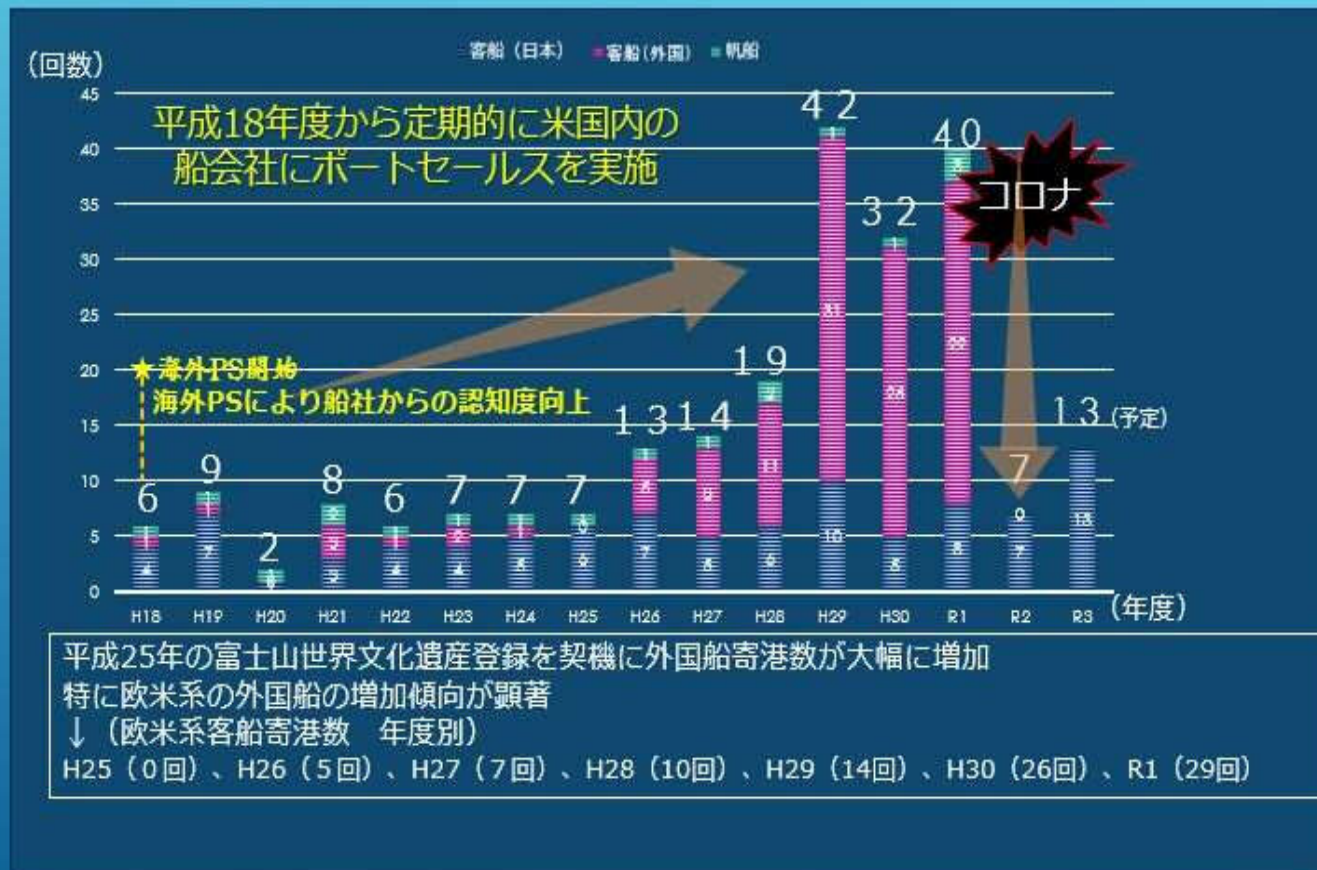


清水港海づり公園イメージパース図

④国際クルーズ拠点(清水港客船誘致の推進)

コロナ禍により寄港数が減少したものの、国内クルーズが復活してきている。コロナ禍前の寄港数へ戻るよう引き続き清水港客船誘致を進めていく。

清水港のクルーズ船寄港状況



Shimizu – The Mt. Fuji Port

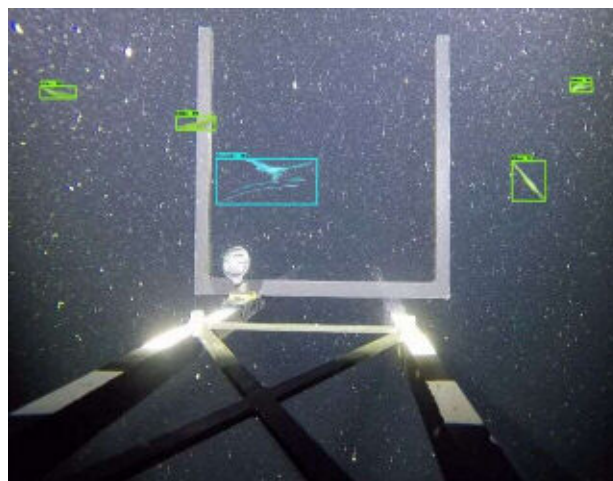
©2022 Shimizu Port Passenger Ships Promotion Committee



⑤海洋産業クラスターの創造事業



▲水中ドローン実証実験の様子



▲サクラエビのAI認識画像



▲プロジェクト成果品のしらす缶詰



▲陸上養殖場内部の様子



▲三保サーモン

3 各事業の実施状況

(3)政策全体の振り返り(継続していくこと、令和5年度以降のイメージ)

【継続していくこと】

- ・海洋文化施設の検討
- ・海洋MICEの誘致
- ・グランドデザインリーディングプロジェクトの推進
- ・民間企業等による地域づくり支援

【令和5年度以降(4次総)のイメージ】

- ・港湾整備や港のブランディング事業により着実に清水港の価値が高まっている。
- ・引き続き、国・県・民等と連携しながら、グランドデザインの具体化を目指していく。
- ・また、核となる施設整備の検討を進めるとともに、客船による賑わい創出や、まちへの展開を図るため、民間開発の支援等を実施していく。

3 令和3年度の主な事業

清水港海づり公園整備事業

海洋文化都市政策課
(海洋文化都市推進本部)

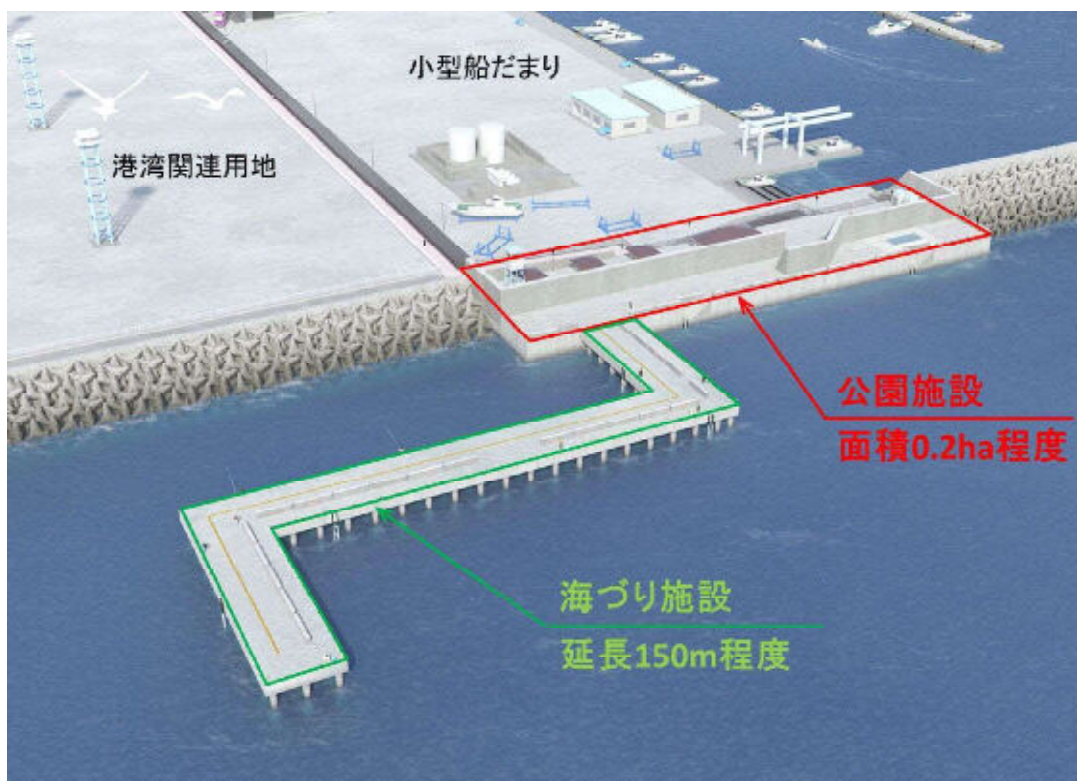
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	153,442		115,000	38,442	
前年度予算額	153,442		115,000	38,442	

目的	新興津地区に清水港海づり公園を建設し、静岡県が行う新興津ビーチパークの拠点とすることで、新たな賑わい空間を創造し、清水港全体の活性化を推進する。
----	--



事業概要	<p>○事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設地 新興津地区 ・規模 海づり施設150m程度、公園施設0.2ha程度 ・年間計画入場者数 2万人 ・暫定供用 令和4年度、完全共用 令和5年度目標 <p>○令和3年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部工3スパン(全7スパン)
------	---



清水港海づり公園イメージパース図

【新規】

新興津地区浜道環境整備事業

海洋文化都市政策課
(海洋文化都市推進本部)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,000				5,000
前年度予算額					

目的 「新興津ビーチパーク」の来訪者（歩行者）のアクセス路となる市道清見潟公園1号線において、道路区域内の民地を適正化し、整備することにより、新たな賑わい拠点として期待される新興津地区の回遊性を高め、地区の魅力向上を図る。



事業概要

- 道路改良検討
現地調査、地元ワークショップ等により最適な道路形態の検討を行い、整備に向けた課題抽出、実現性、制約条件等について整理する。
- 概略平面図作成
道路改良検討を踏まえ、道路の全体計画（190m）の概略平面図を作成する。
- イメージパース作成
道路改良検討、概略平面図作成を踏まえ、整備後のイメージパースを作成する。



新興津ビーチパークパース図



現状の写真



現状の写真(既設防潮堤)

【新規】

農産物輸出促進基盤整備事業

海洋文化都市政策課
(海洋文化都市推進本部)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額					

目的
清水港の利用促進を図り、清水港の発展及び地域経済の活性化に寄与するため、新たな輸出分野として見込まれる農産物を効率的に集出荷するための施設整備について支援する。



事業概要
静岡市中央卸売市場内における農産物の輸出拠点施設整備に対する事業費を助成
※港湾と連携した卸売市場の輸出拠点化（集荷とコンテナ詰め（バンニング）が市場内で実施可能）は、国内初の取組

- 交付先
次の①②いずれにも該当する事業者
①国庫補助制度（農水産物輸出促進基盤整備事業）の対象者
②静岡市中央卸売市場において青果の卸等で取引があるもの
- 事業者が実施する整備内容
プラットフォーム、ドックシェルター、リーファープラグ（冷蔵冷凍コンテナへの電源供給設備）等の整備
- 事業実施による効果
 - ・輸送時間の短縮及び輸送・保管コストが低減される。
 - ・低温物流の確保及び多品種農産物の混載輸出が可能となる。
 - ・中央卸売市場における取扱量の増加が見込まれる。

市場で農産物を梱包

輸出促進整備拠点

ドックシェルター

リーファープラグ

清水港での荷役の様子

産地～市場～清水港～海外へ

清水港臨海地区 (RORO貨物集積場)

清水港新築地区 (輸出拠点)

日本の農産物を清水港から世界へ

清水港地区の農産物を世界へ

清水港地区 (大分・清水興 船6艘)

4 関連する指標の状況

4 関連する指標の状況(市民満足度調査)

(調査概要)

調査地域: 静岡市全域

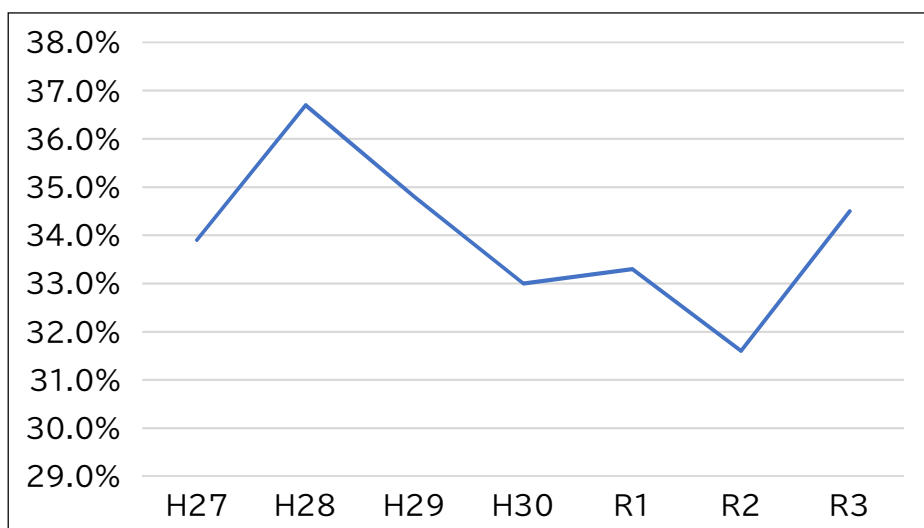
対象: 無作為抽出した静岡市在住の18歳以上の市民3,000人

有効回収数(R3): 1,406人(46.9%)

あなたは、静岡市の魅力が日本国内で認知されていると思いますか。

※R1までは「あなたは、静岡市は国内外の人々に良く知られているまちだと思いますか」

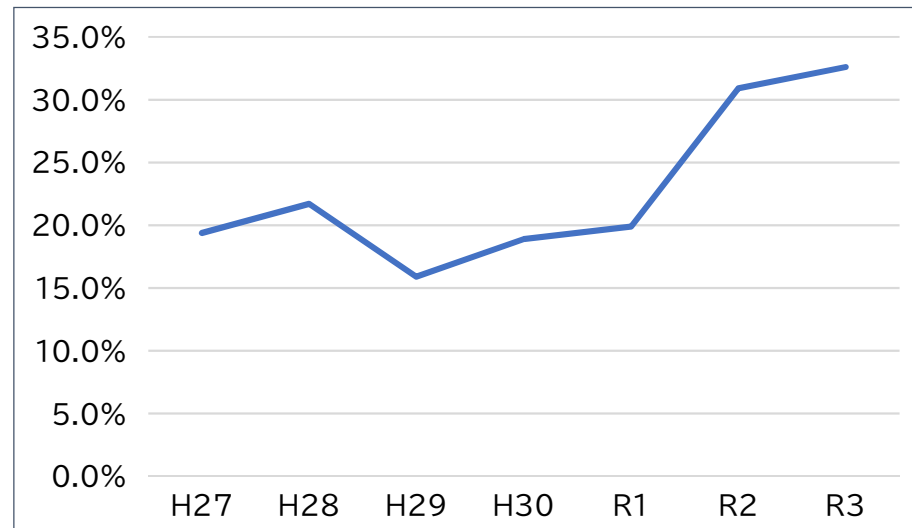
H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
33.9%	36.7%	34.8%	33.0%	33.3%	31.6%	34.5%



あなたは静岡市は世界中から人が集まる魅力あるまちだと思いますか。

※R1までは「あなたは、静岡市は求心力が強く、世界中から人が集まるまちだと思いますか」

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
19.4%	21.7%	15.9%	18.9%	19.9%	30.9%	32.6%



4 関連する指標の状況(総合計画の政策・施策)

